



農業環境技術研究所報告 34号 表紙・目次・奥付

雑誌名	農業環境技術研究所報告
巻	34
発行年	2015-03
URL	http://id.nii.ac.jp/1578/00003003/

農業環境技術研究所報告

第 34 号

目 次

原著論文	農業環境技術研究所における東京電力福島第一原子力発電所事故関連の2011年の放射能研究
(1)	つくば市において観測された東京電力福島第一原子力発電所事故直後から1年間の葉菜、 土壌および降水中の放射性核種濃度の推移 ……………大瀬健嗣・木方展治・井上恒久・栗島克明・福囿康志・谷山一郎…………… 1
(2)	福島第一原発事故直後の関東地方における野菜類の放射性物質濃度 ……………木方展治・大瀬健嗣・谷山一郎…………… 11
(3)	福島第一原発事故直後の福島県周辺の農地土壌における放射性物質濃度 ……………木方展治・大瀬健嗣・谷山一郎…………… 23
(4)	放射性物質沈着初期の農地土壌からの放射性セシウムの抽出 ……………山口紀子・江口定夫・池羽正晴・藤原英司・牧野知之・谷山一郎…………… 29
(5)	農業環境技術研究所畑圃場における農作業に伴い巻き上がる土壌粒子に含まれる放射性物質 ……………山口紀子・江口定夫・林健太郎・藤原英司・塚田祥文…………… 33
(6)	農地表層土壌中の放射性セシウム濃度分布図作成のための緊急調査 ……………高田裕介・神山和則・小原 洋・前島勇治・平舘俊太郎・木方展治・齋藤 隆・谷山一郎…………… 43
(7)	東日本の農地表層土壌中の放射性セシウム濃度分布図の作成 ……………高田裕介・神山和則・小原 洋・前島勇治・石塚直樹・齋藤 隆・谷山一郎…………… 53
(8)	2011年高濃度玄米解析のための福島県土壌データ ……………神山和則・小原 洋・高田 裕介・齋藤 隆・佐藤睦人・吉岡邦雄・谷山一郎…………… 63
(9)	水を用いた土壌攪拌吸引排水法による水田からの放射性セシウム除去技術の開発 ……………牧野知之・赤羽幾子・山口紀子・荒 貴裕・山口 弘・木方展治・藤原英司…………… 75 太田 健・石川哲也・村上敏文・江口哲也・神谷 隆・青野克己・齋藤 隆
(10)	2011年の福島県における衛星データを使用した農地の土地被覆状況把握……………石塚直樹…………… 81
研究資料	農業環境技術研究所所蔵の井上寛博士のメイガ上科（昆虫綱：チョウ目）コレクション目録 ……………吉松慎一・中谷至伸・吉武 啓…………… 101

農業環境技術研究所報告 第34号

審査会

BULLETIN OF NATIONAL INSTITUTE FOR
AGRO-ENVIRONMENTAL SCIENCES

No.34

EDITORIAL BOARD

委員長	井 手 任	研究統括主幹
Chairman	Makoto Ide	Principal Research Director
副委員長	與 語 靖 洋	研究コーディネータ
Vice Chairman	Yasuhiro Yogo	Principal Research Coordinator
委 員	廉 沢 敏 弘	広報情報室長
Editors	Toshihiro Kadosawa	Head, Public Relations and Information Office
	山 本 勝 利	企画戦略室長
	Katsutoshi Yamamoto	Head, Research Planning Office
	坂 爪 栄 二	財務管理室長
	Eiji Sakatsume	Head, Accounting Office
	鳥 谷 均	生態系計測研究領域長
	Hitoshi Toritani	Director, Ecosystem Informatics Division
	大 谷 卓	有機化学物質研究領域長
	Takashi Otani	Director, Organochemicals Division
	藤 井 毅	生物生態機能研究領域長
	Takeshi Fujii	Director, Environmental Biofunction Division

掲載論文等については、農業環境技術研究所ウェブサイト内でも公開いたしますので、併せてご利用くださるようお願いいたします。

[トップページURL] <http://www.niaes.affrc.go.jp/>

(目的)

第1条 この要領は、独立行政法人農業環境技術研究所（以下「研究所」という。）が発行する農業環境技術研究所報告（以下「報告」という。）に投稿する論文に関し、その取扱いを定める。

(掲載論文等の定義)

第2条 報告に掲載することができる論文は、別に定める独立行政法人農業環境技術研究所図書・刊行部会運営要領第4条に定める審査会で掲載が承認された以下のものとする。

- 一 原著論文 未発表の原著論文
- 二 学位論文 学位論文を主体とした論文。学位論文である旨を付記する。
- 三 資料 農業環境に係わる解説・総説、調査、海外の有益情報の翻訳等

(著者)

第3条 論文の筆頭著者（以下「著者」という。）は、研究所職員（元研究所職員を含む。）に限る。ただし、共著者は、研究所外の者を含めることができる。

(言語)

第4条 論文は、原則として日本語又は英語とする。

(著作権)

第5条 論文の著作権については、独立行政法人農業環境技術研究所知的財産権基本方針により、研究所に帰属するものとする。

(電子化)

第6条 掲載論文は、電子媒体に変換の上、外部に提供を行うものとする。

(提出)

第7条 論文を提出する場合は、原稿（紙媒体に出力したもの）に表題、著者等名、所属及び柱を記載した表紙に投稿票（別紙様式）を付し、著者の所属する又は所属した研究領域又はセンターの長等の校閲を受けたうえ、審査会事務局（以下「事務局」という。）に提出するものとする。

なお、提出に当たっての出力は以下に準ずるものとする。

和文 25字×22行 又は 25字×44行×2段

英文 41行（フォント10p 一段組）

(論文の執筆)

第8条 論文の執筆に当たっては、原則として一般的に使用されるワードプロセッサを用いることとし、電子ファイルの事務局への提出は、査読が終了し、審査会において正式受理されてからとする。

なお、執筆に当たっては別に定める独立行政法人農業環境技術研究所報告執筆要領による。

(論文の査読)

第9条 事務局は、審査会において選定した査読者に、論文等の査読を依頼する。

2 査読を依頼する場合は、独立行政法人農業環境技術研究所謝金支出基準（13農環研第81号）に基づき謝金を支払うことができる。

(論文受理年月日)

第10条 論文の受理年月日は、査読が終了し審査会が掲載を承認した日とする。

(校正)

第11条 校正は、原則として三校まで行うこととし、著者校正は初校ないし二校までとする。

(別刷の印刷)

第12条 著者が別刷を希望するときは、あらかじめ事務局に連絡することとする。なお、印刷に必要な経費は、研究領域等で負担する。

附 則

この要領は、平成20年4月1日から施行する。

本誌から転載・複写する場合は、当所の許可を得てください。



農業環境技術研究所報告第34号 平成27年3月31日発行

発行 独立行政法人
農業環境技術研究所 発行者 理事長 宮下 清貴

〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3

電話 029-838-8192（広報情報室）

印刷 株式会社いなもと印刷

〒300-0007 茨城県土浦市板谷6丁目28-8

BULLETIN
OF
NATIONAL INSTITUTE FOR AGRO-ENVIRONMENTAL SCIENCES

(*Nogyo Kankyo Gijutsu Kenkyusho Hokoku*)

No. 34

March, 2015

CONTENTS

RESEARCH PAPER

- Kenji Ohse, Nobuharu Kihou, Tsunehisa Inoue, Katsuaki Kurishima, Yasushi Fukuzono and Ichiro Taniyama
(1) Changes in radionuclides concentration in leafy vegetables, soil and precipitation for a year after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident; In case of Tsukuba City, Japan. 1
- Kenji Ohse, Nobuharu Kihou and Ichiro Taniyama
(2) Concentration of radioactive materials of vegetables in the Kanto area just after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident 11
- Nobuharu Kihou, Kenji Ohse and Ichiro Taniyama
(3) Concentration of radioactive materials of agricultural soil in surrounding area of Fukushima prefecture just after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident 23
- Noriko Yamaguchi, Sadao Eguchi, Masaharu Ikeba, Hideshi Fujiwara, Tomoyuki Makino and Ichiro Taniyama
(4) Radiocesium extraction from arable soils at the initial stage after deposition of radionuclides 29
- Noriko Yamaguchi, Sadao Eguchi, Kentaro Hayashi, Hideshi Fujiwara and Hirofumi Tsukada
(5) Agitation of radioactive substances in soil particles by agricultural practices 33
- Yusuke Takata, Kazunori Kohyama, Hiroshi Obara, Yuji Maejima, Syuntaro Hiradate, Nobuharu Kihou, Takashi Saito and Ichiro Taniyama
(6) Emergency Survey for Spatial Mapping of Radioactive Cesium Concentration in Agricultural Soil 43
- Yusuke Takata, Kazunori Kohyama, Hiroshi Obara, Yuji Maejima, Naoki Ishitsuka, Takashi Saito and Ichiro Taniyama
(7) Spatial prediction of radioactive Cs concentration in agricultural soil in East Japan 53
- Kazunori Kohyama, Hiroshi Obara, Yusuke Takata, Takashi Saito, Mutsuto Sato, Kunio Yoshioka and Ichiro Taniyama
(8) Soil properties for analyzing cause of high radiocesium concentration in brown rice produced in 2011 in Fukushima prefecture 63
- Tomoyuki Makino, Ikuko Akahane, Noriko Yamaguchi, Takahiro Ara, Hiroshi Yamaguchi, Nobuharu Kihou, Hideshi Fujiwara, Takeshi Ota, Tetsuya Ishikawa, Toshifumi Murakami, Tetsuya Eguchi, Takashi Kamiya, Katsumi Aono and Takashi Saito
(9) Development of stirring cleaning method to remediate radioactive cesium-contaminated paddy fields. 75
- Naoki Ishitsuka
(10) The understanding of land cover situation on the farmland in 2011 using satellite data at Fukushima 81

RESEARCH NOTE

- Shin-ichi Yoshimatsu, Yukinobu Nakatani and Hiraku Yoshitake
A list of specimens of Pyraloidea (Insecta: Lepidoptera) of Dr. Hiroshi Inoue preserved in the National Institute for Agro-Environmental Sciences 101

National Institute for Agro-Environmental Sciences

Kannondai, Tsukuba, Ibaraki 305-8604

JAPAN